親子のページ

# 進路

## ～先輩からのアドバイス～

## 自分の視野を広げる

種子島高等学校
普通科3年
岩坪　空成

「自分の夢や好きなことが見つからない」そう悩んでいる方も多いのではないでしょうか。しかし、私はそれほど頭を悩ませる必要はないと思います。なぜなら、高校は夢に向かって努力するためだけの場所ではなく、自分の視野を広げ、夢や目標を探すための場所としての役割も持っているからです。特に普通科は後者の割合が他の学科より大きいと思います。

私自身、高校入学当時は、「大学に進学したい」といった漠然とした考えしかありませんでした。周囲には既に夢に向けて努力している同級生もいました。その姿を見て、羨ましいと感じたり、何も目標が定まっていない自分と比べて悲観したりすることもありました。しかし、高校で多くの経験をする中で自分の目標が徐々に明確になりました。

普通科では専門的な科目こそないけれど、その分幅広く様々なことを学べます。また、多くの学校行事もあります。私は、少林寺拳法の九州大会に出場したり、東京大学で行われた食とエネルギーに関わるワークショップに参加したりと、本当に様々な経験をさせて頂き、物事をより俯瞰的に見る力を養うこともできました。こうした活動を通じて、大学・専門学校への進学や、就職など多種多様な進路を選択でき、自分の意見を最大限反映できるのが、普通科の強みだと思います。

## 想像力を道に

尚志館高等学校
特進科3年
上古殿　康平

「なりたい自分を想像しよう」みなさんも一度は言われたことがあるのではないでしょうか。私自身も中学校の頃に言われたことがあります。しかし、当時の私は明確な目標はなく、進路も未決定だったので想像なんて出来ませんでした。そんな時、中学校の先生の紹介を受けて尚志館高校を目指しました。

尚志館高校に入学すると、そこには数々の先生方の熱心なサポートがありました。また、常に「成功のイメージ」を持つことの大切さを教えてもらっています。それを力に変えられた先輩方の進学実績は素晴らしいもので、看護学科も国家試験全員合格を成し遂げました。部活動でも各部活の活躍で、全校応援の機会にも恵まれています。

このような環境で学び、他の学科にも刺激されて私にも目標が出来ました。それに向かって現在日々精進しているところです。世界中で有名な物理学者のアインシュタインは「想像力はどこにでも連れていってくれる」と言っています。次の試験や大会という近い未来のことからでいいです。成功した自分の姿を強烈にイメージしてください。そしてニヤニヤしてください。あとはそこにたどり着くべく進むだけです。その道が一人一人の想像力で創り上げられることを願って応援しています。

## 食農プロデュース科に入学して

加世田常潤高等学校
食農プロデュース科1年
谷村　涼菜

私は、加世田常潤高校に新設された食農プロデュース科の第一期生として入学しました。現在、野菜や家畜を育て、それに付加価値を付けて商品化し、販売していく六次産業化について学んでいます。

この新しい学科で、学びたいことや取り組みたいことがいくつかあります。一つ目は、「土壌について」学びたいです。なぜなら、野菜は土によって生育に差が出ると思うので、最も適した土を使い元気な野菜を栽培すれば、収穫量も増やせると思います。それは、就農を考えている人の役にも立つと思います。二つ目は、「小麦など原材料の種類によって、どのような加工品に適しているか」について学びたいです。そして、生地や麺・菓子などへの加工を学び、商品開発に活かしたいと思います。

また、やりたいことは、「地域の農産物を用いて、安心・安全で、地産地消に貢献できる加工品を開発し、地域にPRしたい」と思います。私はこれからの高校生活で実習を通して、たくさんの人と接し、農産物を育て商品化し、食卓に届ける事ができるように頑張りたいと思います。